

if

May their love be fortunate!

ADULT ONLY



if

another: zero distance



if

はじめに。

手にとって頂きありがとうございます。
トーン貼れなかった…すみません

ついでにエロ漫画というより
バカ漫画になってしまった。
というか剣さんと槍さんが真面目なので
余計にそう見えてしまって
しかしながらだからこそその二人が
描きたかったのです。はい。

…。

アニメを見てそれはもう素晴らしき時間を
毎週感じさせて頂き
至福でございました。

今回の話
いろいろごちゃまぜになっております。
槍さんには呪われた日々ではなく
もしもの世界では
ほんの少しの幸せと
素敵な愛を感じていただきたく。

エミヤがそうであったように
いつかのどこか
そういう二人がもしもあったなら

セイバーへの想い

「俺はお前に出会えて良かった」

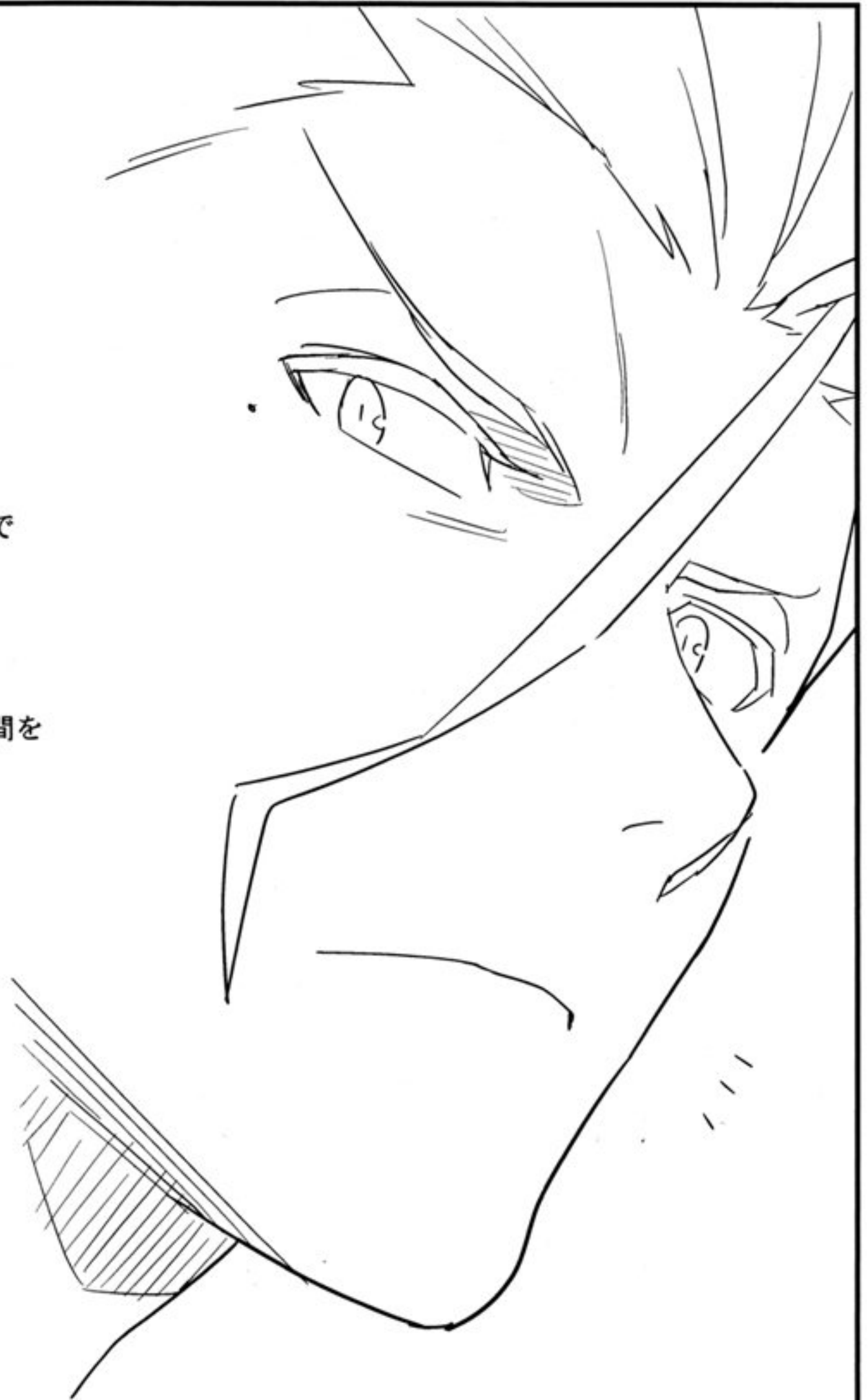
そんなお話になっていれば
ゆきみも幸せです。

…という言い訳でした。orz

ではどうぞ←

恋愛キューピットなケイネス&ソラウさん達にも
ほんの少しの幸せを。

白くてすみません。



あの…



弓道部

彼の名は
デイルムッド・オディナ

こうすれば
いいのか？

穂群原学園2年
転校を繰り返して
現在に至る

その右目のほくろに
自らも制御不可の
"魅了"の呪いを宿す
顔を見た女性は
例外なく魅了され
あの様になるようだ

入れて…

ハモウモウ

ケイネス
なぜ彼を
ターゲットに？

不満かな
ソラウ

ケイネス

ソラウ

だって
私達クラスの
恋愛キュービッドが
魅了の呪い持ちを
ターゲットにした
なんて
聞いたこと無いわ

私なら
雨生龍之介を
ターゲットに
するわね

…確かに

女性を獲物としか
見ない殺人鬼に
恋愛させれば
高評価が得られる
であろうが…

あのデイルムッド
という男
自身の魅了を
知っている





ディール様ツ
もっとおおお

ディール様あああ

制御できぬ魅了ならば
有用すればよいものを
彼は魅了の解呪を
求めていたようなのだ
持つて生まれた呪いなど
解く方法は無いと
いうのに



まあ
そこに愛なんて
皆無だものね

彼が女性に
抱く感情は
空虚

その関係は
肉体のみ
相手の要求に応え
心までは
踏み込まない



つまり彼は
魅了された女性に
興味が無い?

お顔にも
お口にもお

もっとお
ディール様の
精子下さい



まあね

アレは
操り人形と
同じ



魅了させて
しまった女性への
罪滅ぼし
故の肉体関係
苦行に近い

だからこそ
心からの恋愛を
させたいって
わけね

乗ってあげるわ
ケイネス
アナタの提案

下の
お口にもお

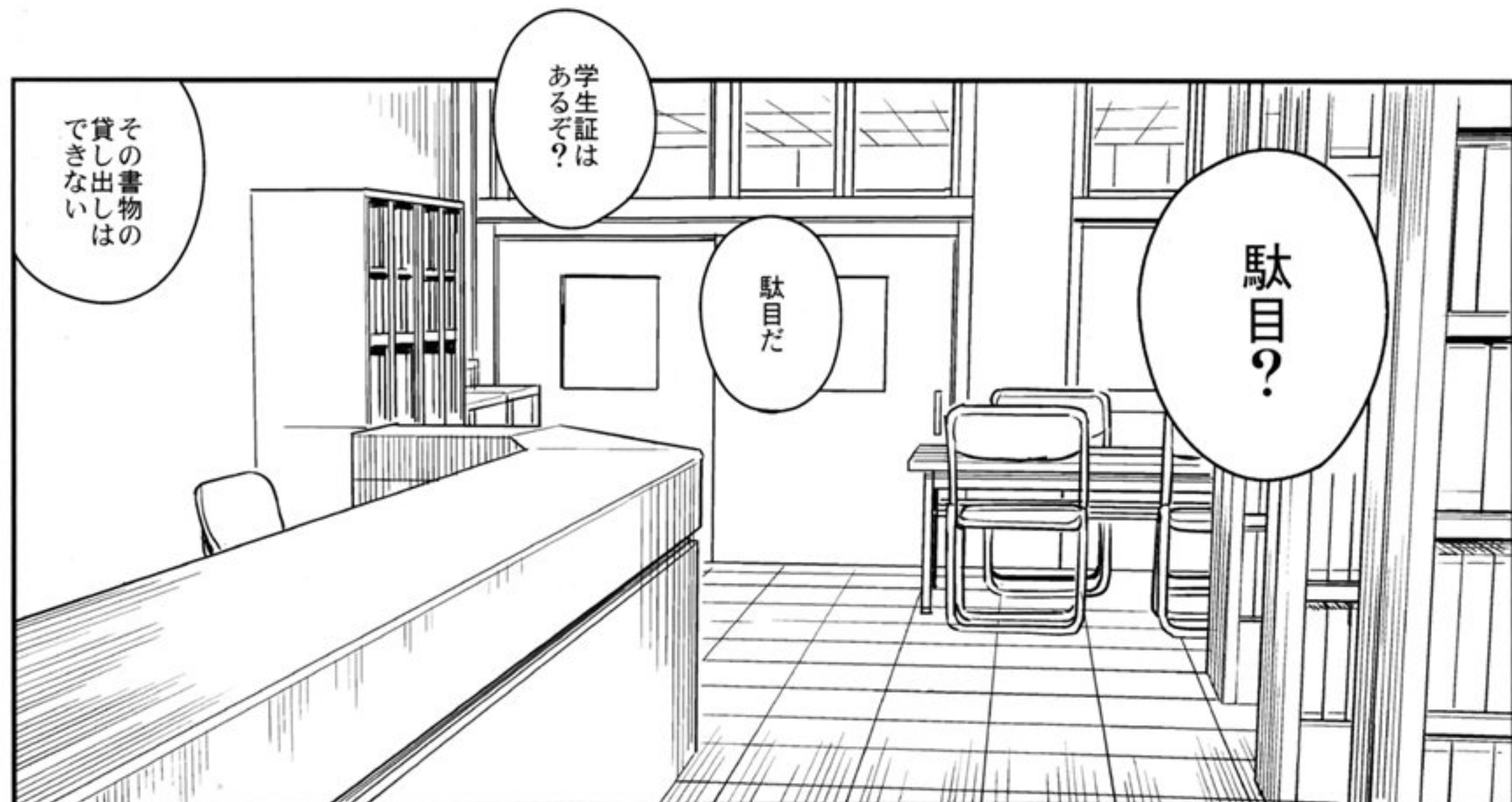
ディール様の
精子

突き上げてえ

孕んでも
いいからあ

もっとお
もっとお
してえ

もっとお
ちようだい



駄目？

駄目だ

学生証は
あるぞ？

その書物の
貸し出しは
できない



以前の担当者は
貸し出しを
なぜか許可した
形跡があるの
だが

貴方は先週も
同種の本を一度に
数冊借りている

……
すまないが
理由を聞かせて
くれないか？



呪術の本など
借りる者も
いないと
思ったのだが

まさか
この女性……



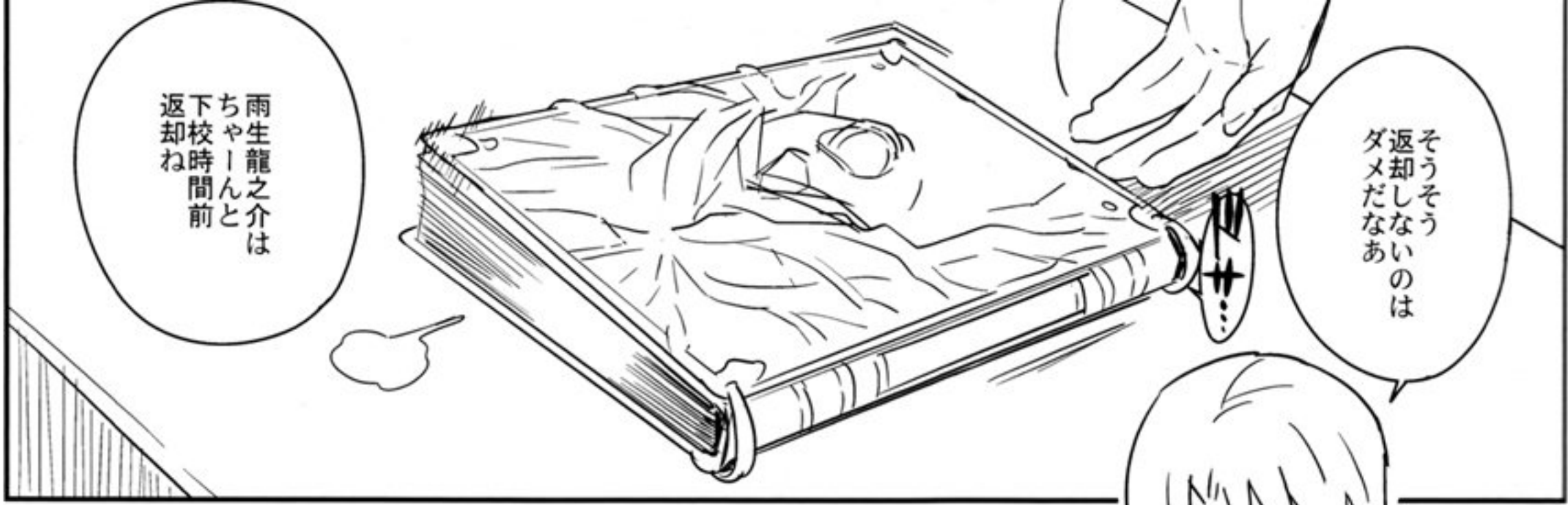
規則だ
ご理解願いたい
この本は私の方で
戻しておく……

魅了の
効果がない？



まずはその書物の
返却を願いたい
でなければ
これ以上の貸し出しは
できない

借りに来る人の為
ルールを守って
もらいたい





なんだこの…
胸の高鳴りはッ

なっ…



そして今理解した

俺は…
いつの間にか
自身が忌み嫌う
この魅了に
甘んじて
いたのだな

貸し出しの出来ぬ
状態であろうが
可能になるだろう
などの過信…
目が覚めた想い

お前の言葉は
俺の曇り腐っていた
心を断ち切る『剣』



かつて
これほど純粹に
俺への拒絶を
表現した
女性がいたか？

否っ

ここは
貴方だけの
図書室では
ない

やはりこの女性
魅了効果が無いッ



まさか

魅了を
受け付けない
生徒が居た
なんてね

良い
誤算だな



彼女こそ
俺の捜し求めた
伴侶

そして

呪い無き
対等な異性

私達
恋愛天使の座に
与えられし宝具

長槍
“破魔の紅薔薇”

そして
対を成す

短槍
“必滅の黄薔薇”

心と心が通う瞬間
二人の心臓を同時に
射抜く事が



恋愛成就の第一歩

心を
“開放する力”

ケイネス

ミスれば
進展は無い
一瞬の勝負

ああ

この機を
逃さない

まず非礼を詫びたい
すまなかった
今後は善処させて
いただく

そして貴女の
助言に感謝だ

そこに
立ち尽くして
だいては困るの

詫びなど
必要無い

人気の無い
図書室において
読書を愛する姿勢
私は嬉しい限りだ

私の方こそ
もつと言葉を
選ぶべきだった
…すまない



今月は私が
図書委員を務める
気軽に来てくれれば
嬉しい

貴女との
出会いに
感謝する

明日も
貴女が
担当か？



毎日
来よう



時…
に…

さて…
彼がどう
出るのか

まずは
成功ねえ
ケイネス



この心情に
嘘偽りは無く
…故に

勝負を
申し込む



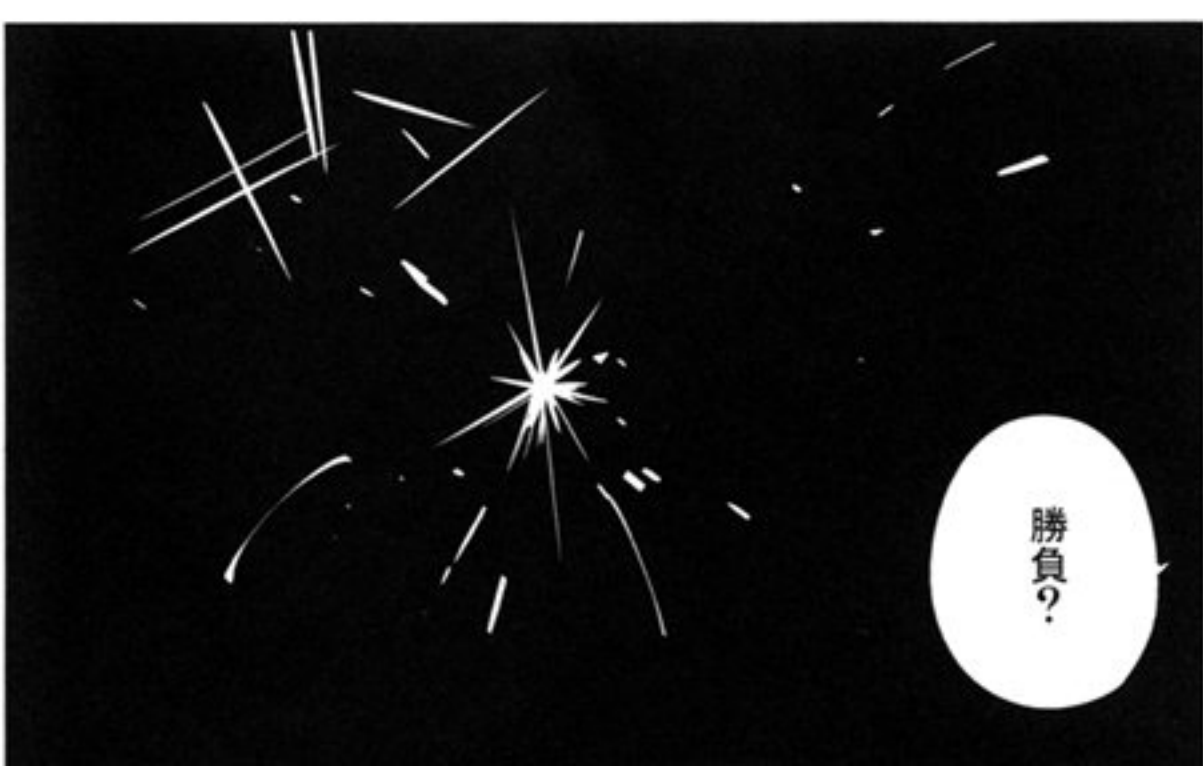
求婚を
申し出たい

人はいつの日も
出会い別れ
戦い続け
選択を迫られる
ものだ

貴女は
どうだろうか？



この
ディルムツド
突然ではあるのだが
貴女に…



勝負？



セックス勝負ッ

ルールは簡単だ

俺が先に果てた
ならばこの高鳴る
貴女への想い
全て封印しよう

逆に俺が
貴女を果てさす事が
叶ったならば
共に生きることを
誓ってもらいたい

俺は諦めない男だッ
一騎打ち本番勝負
返答を願うッ



わかった
受けよう



な…

何を考えて
いるのだ!
あの男は!

この場においては
互いの存在認識程度に
留めるべきであろうが!

そのような
ふざけた勝負
引き受けるか!
思っているのか!



おお!
それでは



勝負を挑まれた
とあっては
受けずにはおけない…
”一騎打ち”
ならば尚の事

ディルムツドよ

貴方のその
真摯な眼差しに
理解を示し
お相手させて
いただく

勝負か…

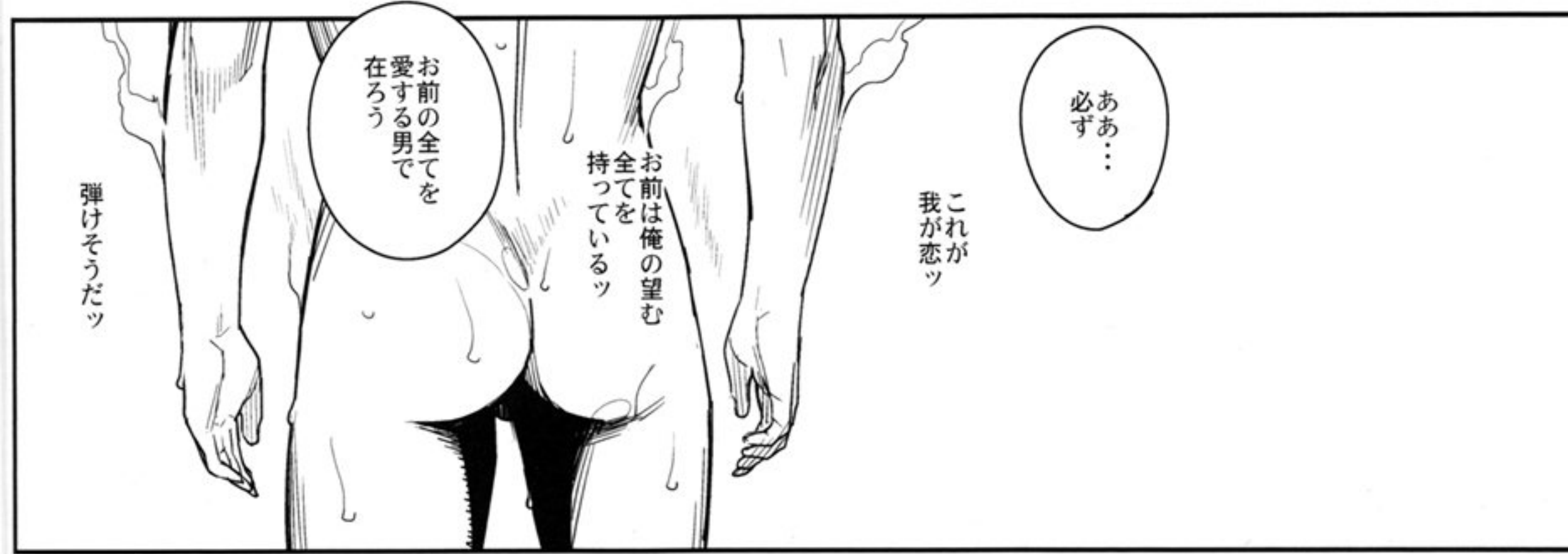
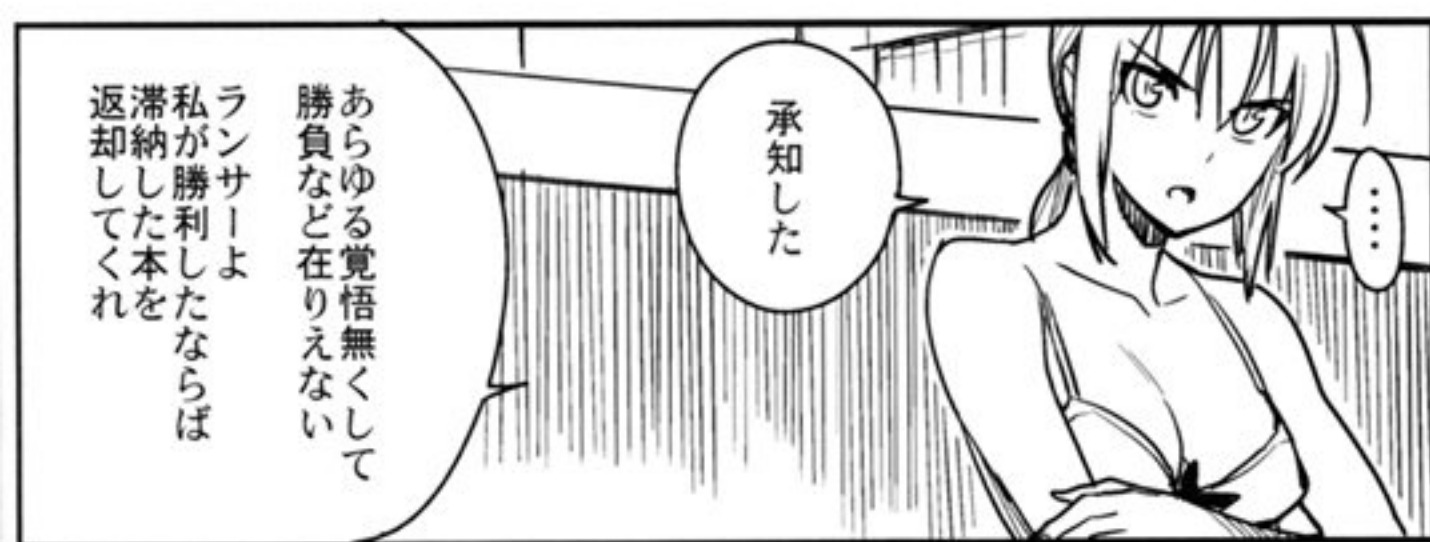
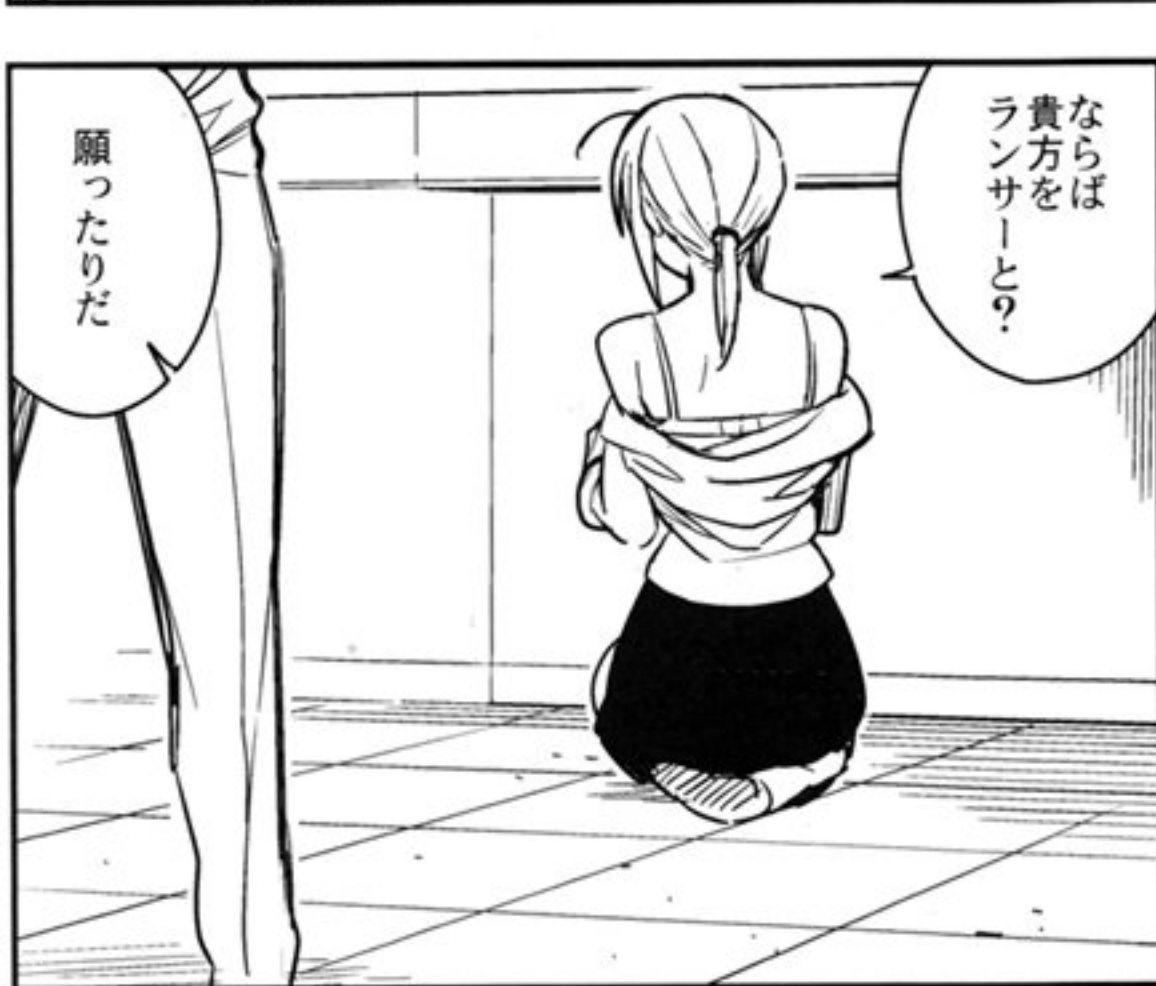


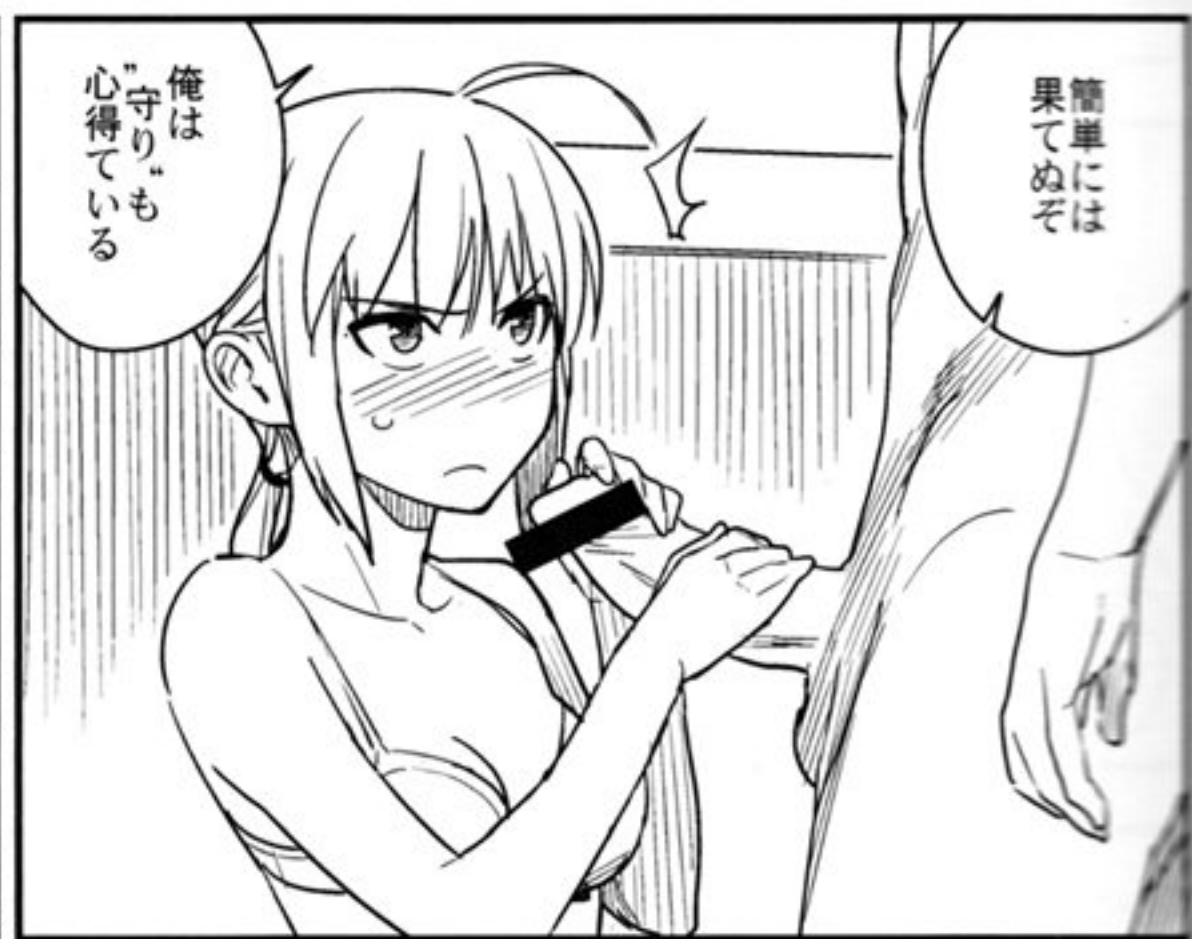
いつかの
夢で見た感覚と
似ている

違う何処か…

私達はそう在った
のかも知れないな

果ての無い
輪廻の中







そしてこの
処女特有の舌使い



柔らかな
唇...

喉奥の
包むような
カリ首への刺激



射精感が
込み上げるっ



幼さを残し
ながらも...
時折見せる
この眼差し

ぐうううッ
いかんッ



げほッ



...ッ...は

んはっ

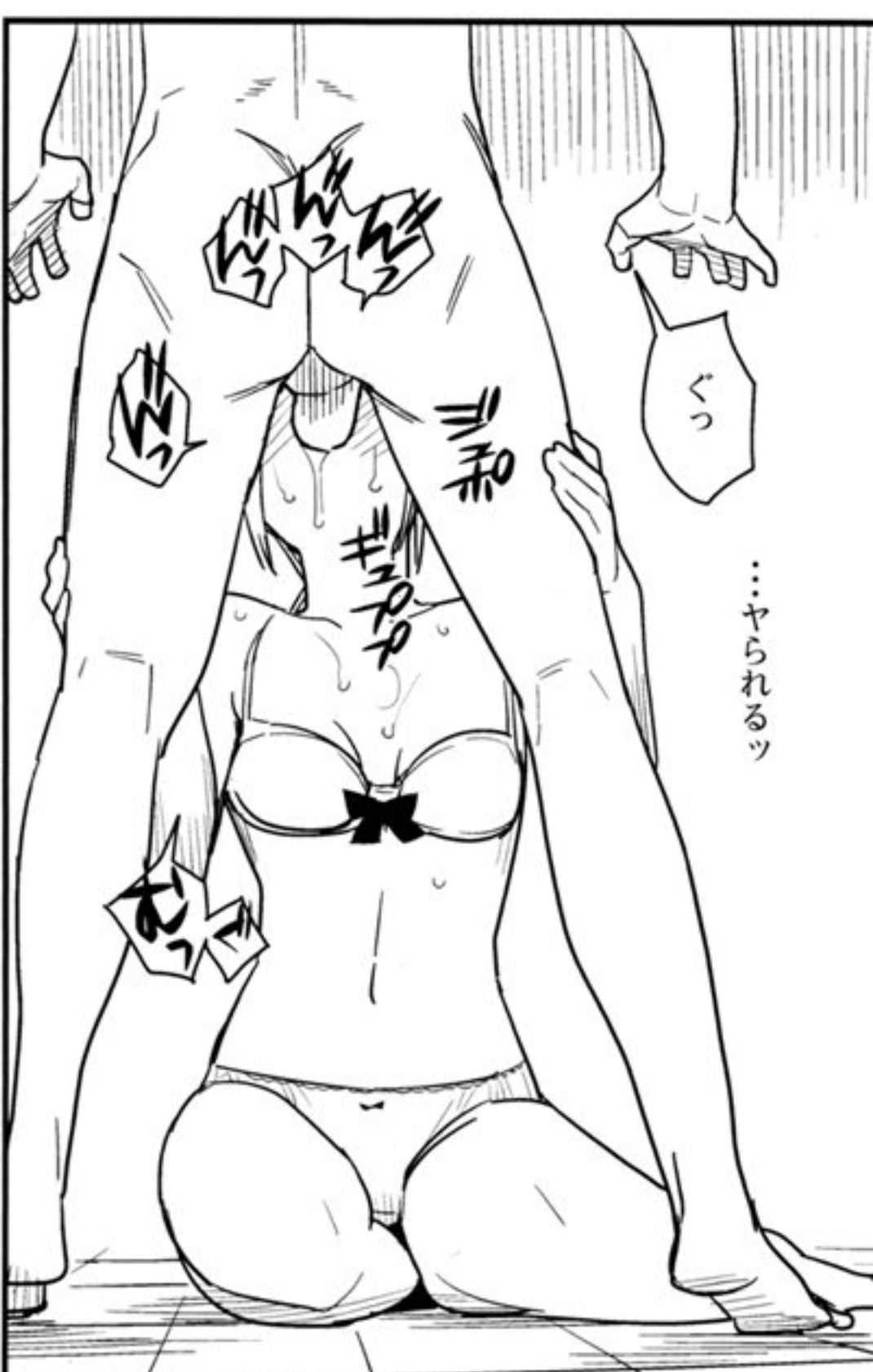


また
大きくッ



ど...どうす
ればいいのか
少し...奥まで
飲み込み過ぎた

交代だ
ランサー



...やられるッ



ああ...
そうだな

危なかった...



ならば

ん...



勝負ならば
互いの攻めを
受け切らなくては
面白くない



セイバー
お前の秘部
味あわせて
もらおう

ME...



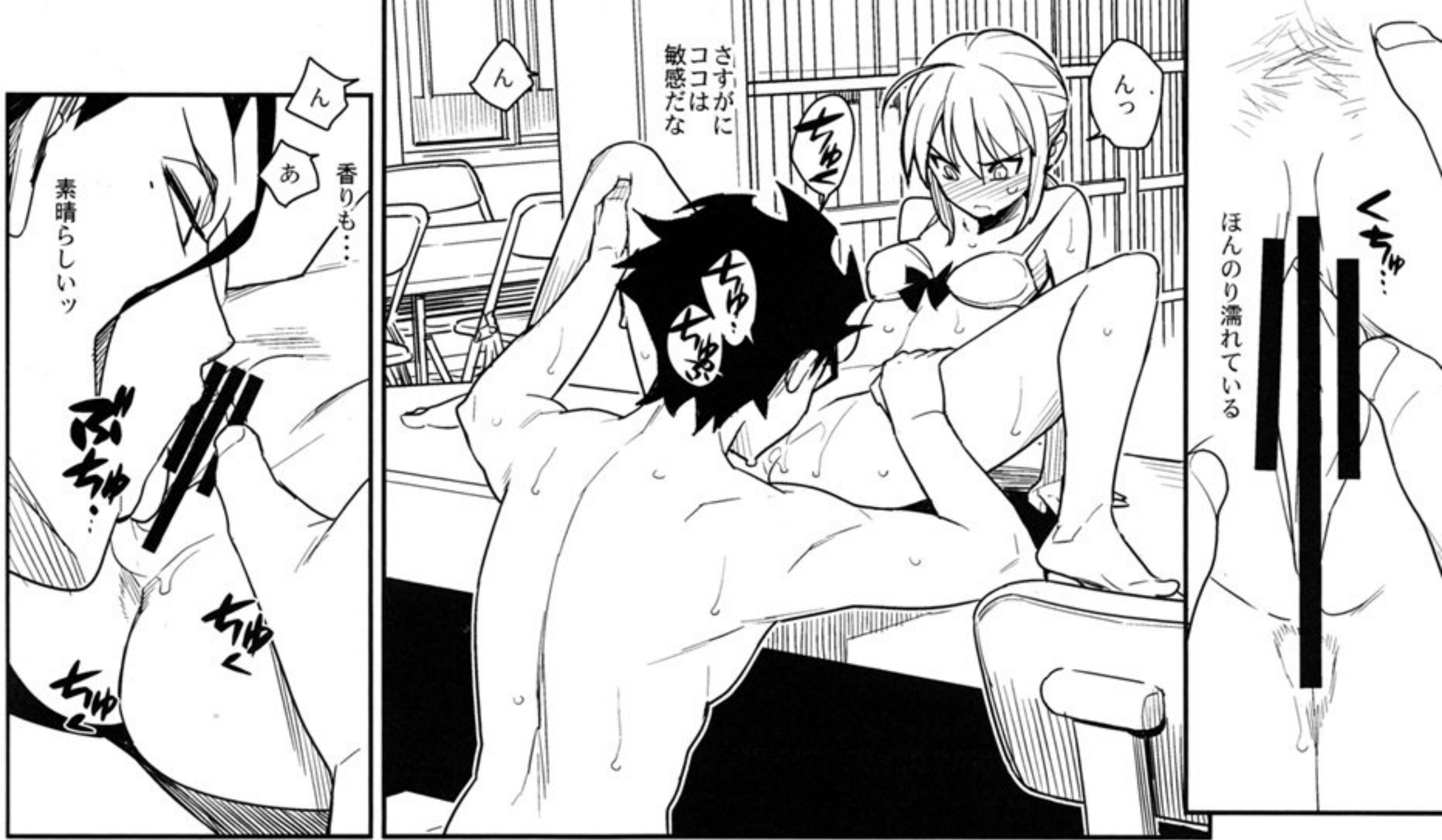
薄っすらでは
あるが
黄金の陰毛ッ

なるほど
その金髪ゆえの
錯覚ッ
ナチュラル
パイパンッ
さすがだ...
セイバーッ



いやッ

パイパン...



香りも...
ん
あ

さすがに
ココは
敏感だな

んっ

ほんのり濡れている

くっ...



くっ...

んっ

んっ

んっ

んっ



いかな...ッ

んっ

吸われ...て



私が指で触るより
舐め回される方が
...こんなにも

い・意識を
集中しなければ
彼に果て顔を晒す
わけには...

き...
気持ちいい...

んっ

んっ

んっ

んっ

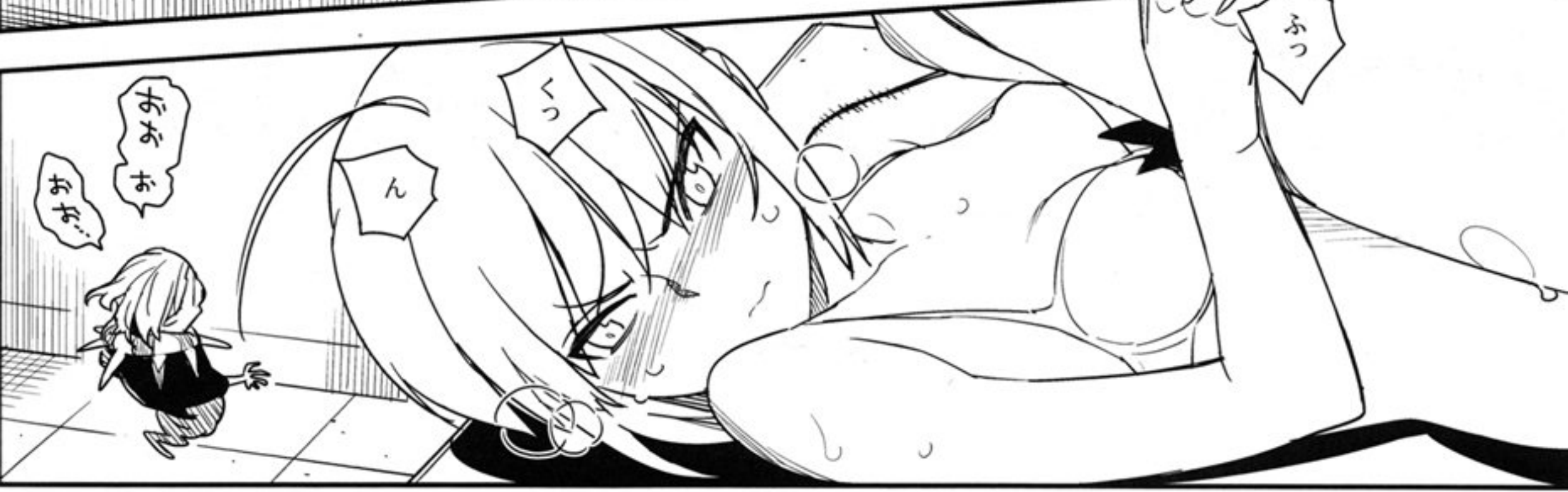
んっ

んっ



ズズズ...





私の眼前で
なんと卑猥な
行為を！

おお

ヴァギナに
舌を這わせ
味わわれ
そのような
表情で！
ジャンヌ！

おおお

またしても
神は私に
試練を
お与えか？



麗しのジャンヌよ
お許しください
このジル・ド・レエの
淫らな罪を

セイバー



宜しい...

ならば
このジル・ド・レエ
貴女をこの世界から
お救いするために
現界したはず



私と共に
あの書物の中へ
還りましよう
そして永久の時を
二人で過ごすの
です！

その為には！
この卑猥な行為に
私も加担しなければ
なりません

構わぬのならば
挿入するが？

気遣いは無用だ
元よりそうした
勝負のはず
私は負けるつもり
など無いぞ

口に含んだ
時よりも
更に太く...

わ・私を果てさせ
伴侶にしたいの
ならばその身で
確かめればよか
ろ

アレが
私の中に

ならば
ゆくぞ
セイバー

どちらかが
果てるまでッ

わかって
い...る

んッ

あっ

あっ

入って...
来る...

下腹が
熱いッ

これが...
男のモノッ

セイバー...

き・気遣いは
無用だと
言ったはずだ



私の一番奥

子宮っ

グワッ
グワッ
グワッ
グワッ

開かそうと
しているのか

意識を保たなければっ
なると
激しい攻めなのだ

んっ

あっ

胎内を掻き回さ
れているように
熱いッ

下半身が
とろける……ッ

締めりが
すばらしいぞ
セイバー

握られてい
るようだ

締めりを
意識など……くっ
していないッ

力を抜かぬと
セイバーが
イッて
しまうぞ

できるならば
しているッ

しかし
貴方のモノが
そうさせて
くれないで
はないか

セイバーよ

俺は今
最高に感じて
いるぞッ

体位が
変わる??

ダメだ
ランサーッ
この体勢は

このまま
では……ッ
くっ……ッ

中の空気が
もれるッ

やッ

はッ

ち……
違う……

き・聞くなッ

うッ
くッ

や

俺は貴女の
全てを愛すると
言ったはずだ

セイバー

違うのだ
空気がッ



ありのままを
見せてくれ

俺には
貴女しか
見えていない

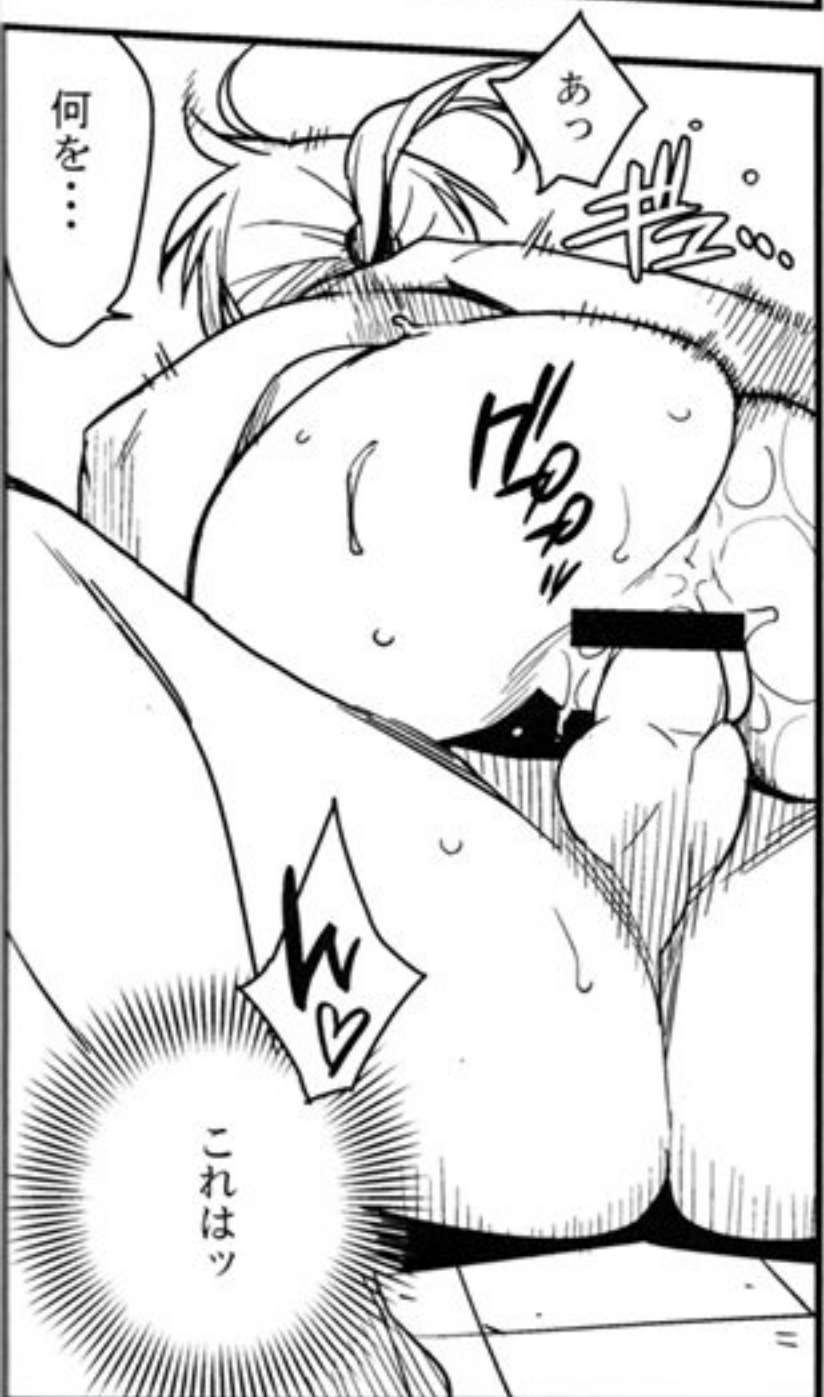
わかった



かああああ



負ける気
など...



何を...

あっ

ぽんぽん

これはッ



ありのまま
いよう

自慢は
できぬが...

これが
生まれたままの
私だ

だが
心しろランサー
私は...



ランサーのモノが更に太く なっていくッ

ほう…

彼女の恥じらいを味方につけたか

ランサー有利 恋愛成就も近いぞソラウ

奥に当たっている…ッ

こ…この心の高鳴り… わ…私はどうしてしまったのだ？



彼はいつ果ててもおかしくない

あの二人から目を逸らしては駄目よ ケイネス

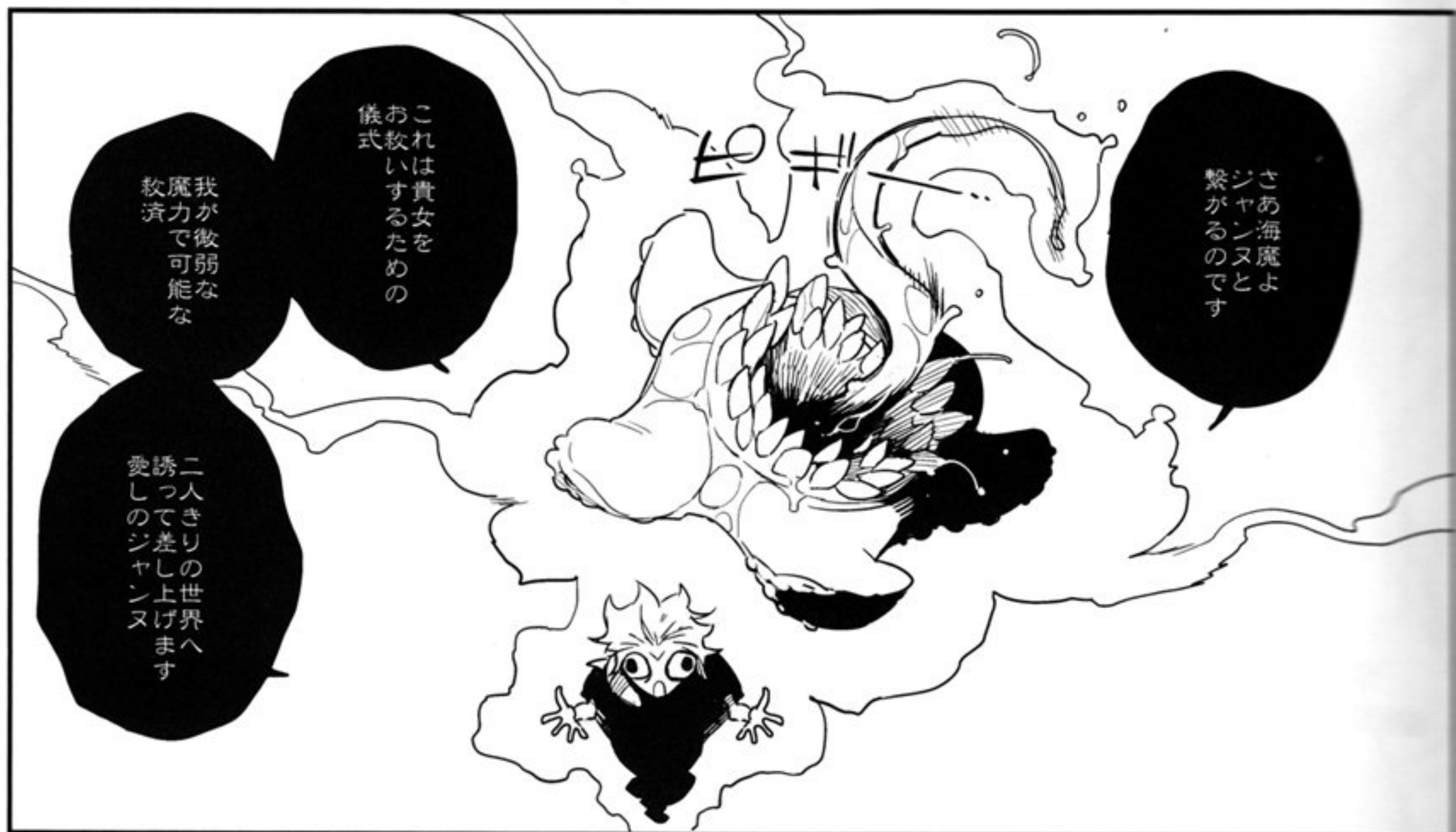
あ…ああ



いいえ これでも五分

彼の忠義にも似た精神力だけが射精を寸での所で止めているだけ…

限界なんて初撃のフェラでとっくに超えているのよ



さあ海魔よ ジャンヌと繋がるのです

これは貴女をお救いするための儀式

我が微弱な魔力で可能な救済

二人きりの世界へ誘って差し上げます 愛しのジャンヌ



何っ…

ヤ…待ッ

ラ・ランサー

そこはっ
駄目だ

ん？

ちゅっ…

ちよ…つと
待ってくれ

今何か…ッ

そこはッ

俺の
攻め方への異論か？
どちらかが
果てるかの
勝負のハズだぞ
セイバー

くっ…
そ…：そうなの
だが
これはッ

これが
人の指の
動きなのかッ

おおっジャンヌ
貴女と今
繋がっていますッ

カッ

カッ
カッ
カッ

カッ
カッ
カッ



おお

何となく温かさ
まさに聖母の抱擁

穢れてなお
無垢であるうと
する姿

ああつ
ジャンヌ!!
早く私の元へ
貴女の新鮮な
声を聴きたい

海魔よッ
もつと
責めるのです

どうした?
セイバー!
膣がビクビク
しているぞ?
イキそうなのか?

気...
のせいだ!

イクことは
ない!

さあ
ジャンヌ

蠢く海魔を
体内に感じながら
果てるのです

ふっ...

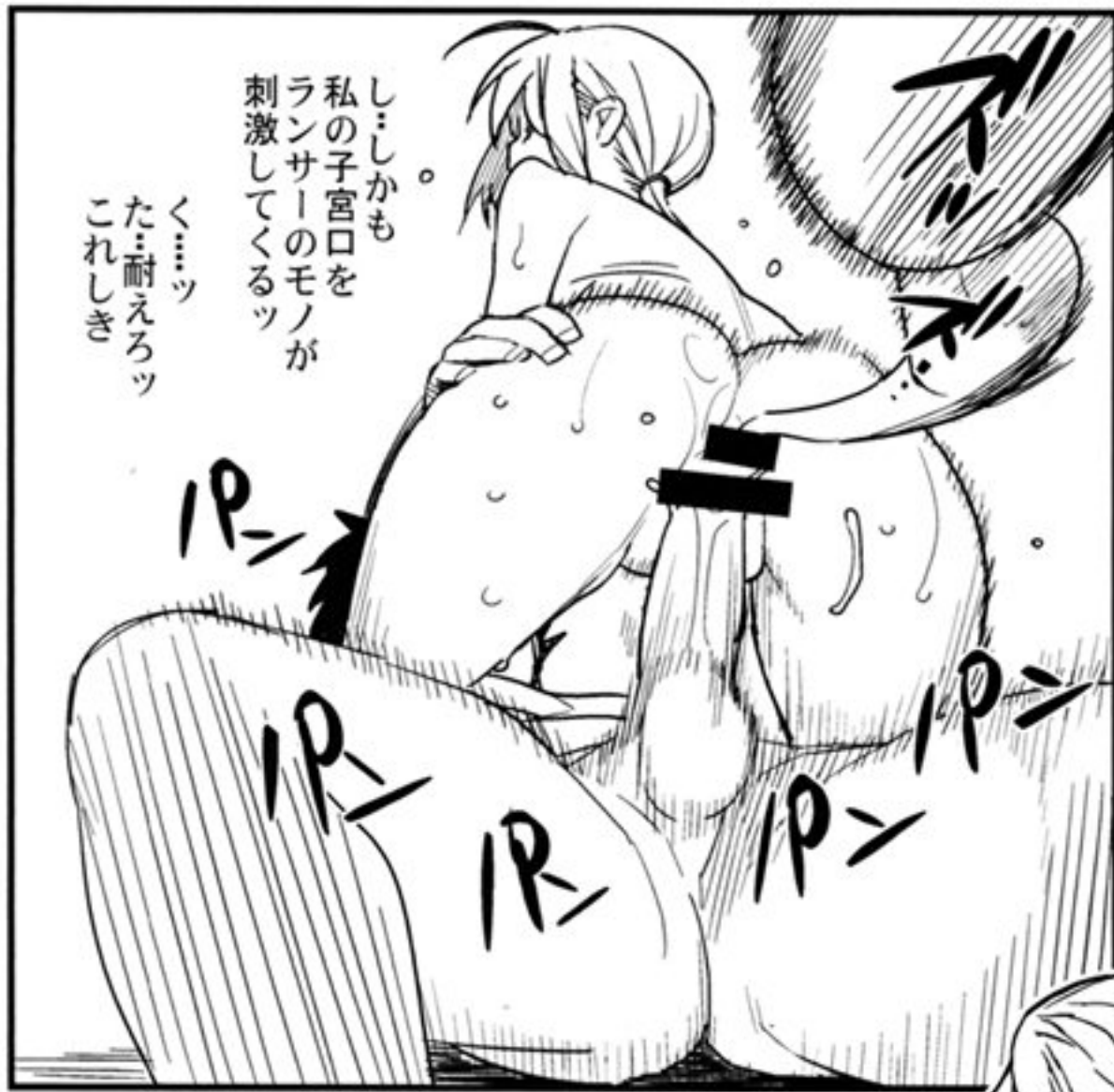
おしりにッ

あつ

何かが

やつ





し：しかも
私の子宮口を
ランサーのモノが
刺激してくるッ
く…ッ
た…耐えろッ
これしき



くっ
ま…まるで
別の何かに
掻き回されて…



貴女が果てると
同時に
繋がった海魔を
触媒としコチラの
世界に引き込んで
差し上げる

故にッ

性交における
絶頂とは
最も無防備な瞬間



さあッ
匹夫と海魔の攻めで
果てるのです！

そして
参りましょう
我が書物の
世界へ



ここからが勝負どころだ
セイバー

何を...

宣言するぞ
アナルを
さらに
攻めると

.....
もう十分奥まで
掻き回されている
というのに

貴女を
果てさすには
攻めねば
ならぬようだ

そんな...
これ以上は

覚悟は良いか?
セイバー

2穴攻めで
私はもう
限界に近いッ

意識が...
どうにか
なりそうだ

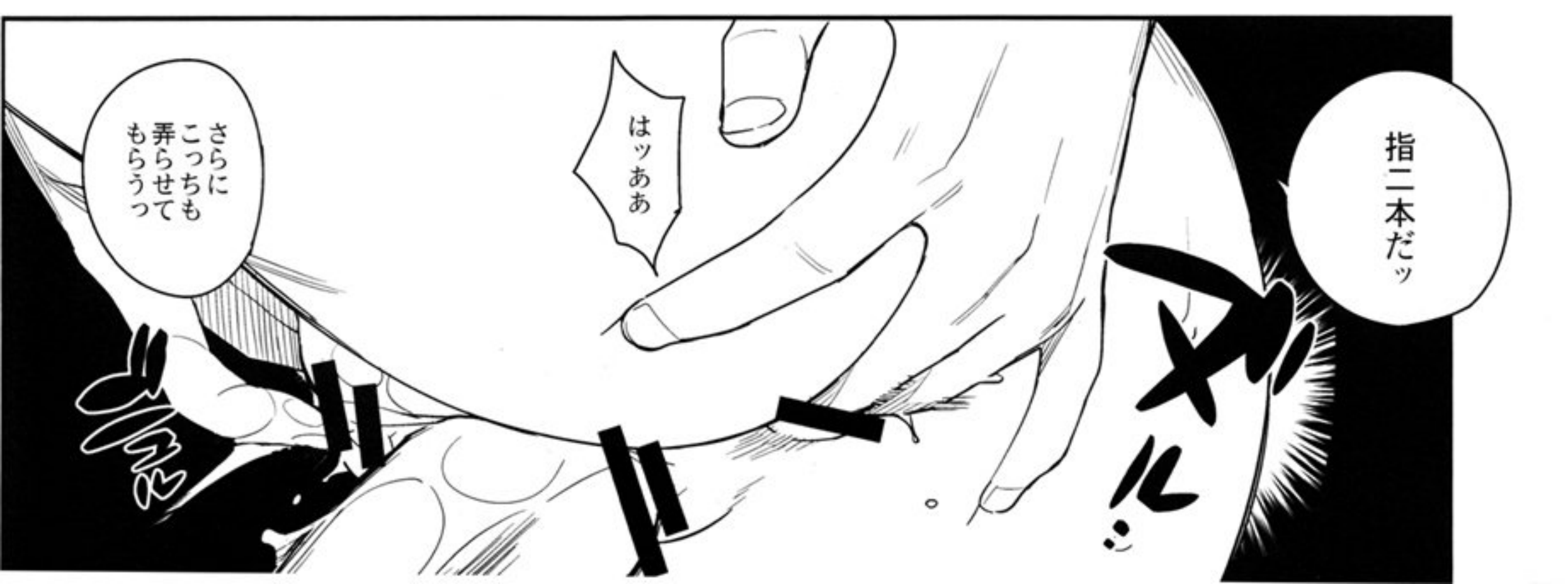
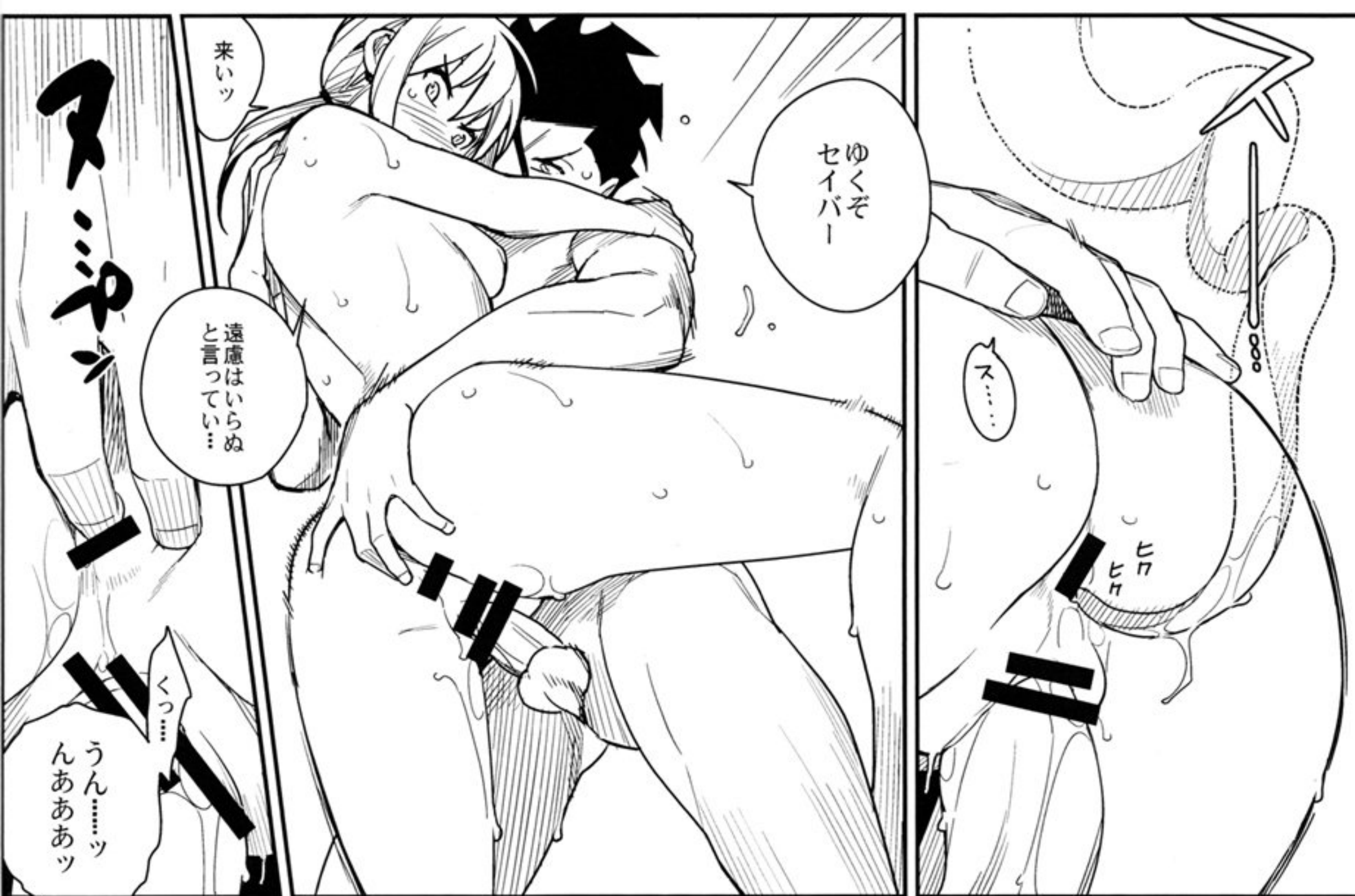
私の全てを
同時に攻めて
くる男

ひとつになつて
わかる事も
あるのだな

お前ならば私は...

ランサー...

くっ
ふうあ



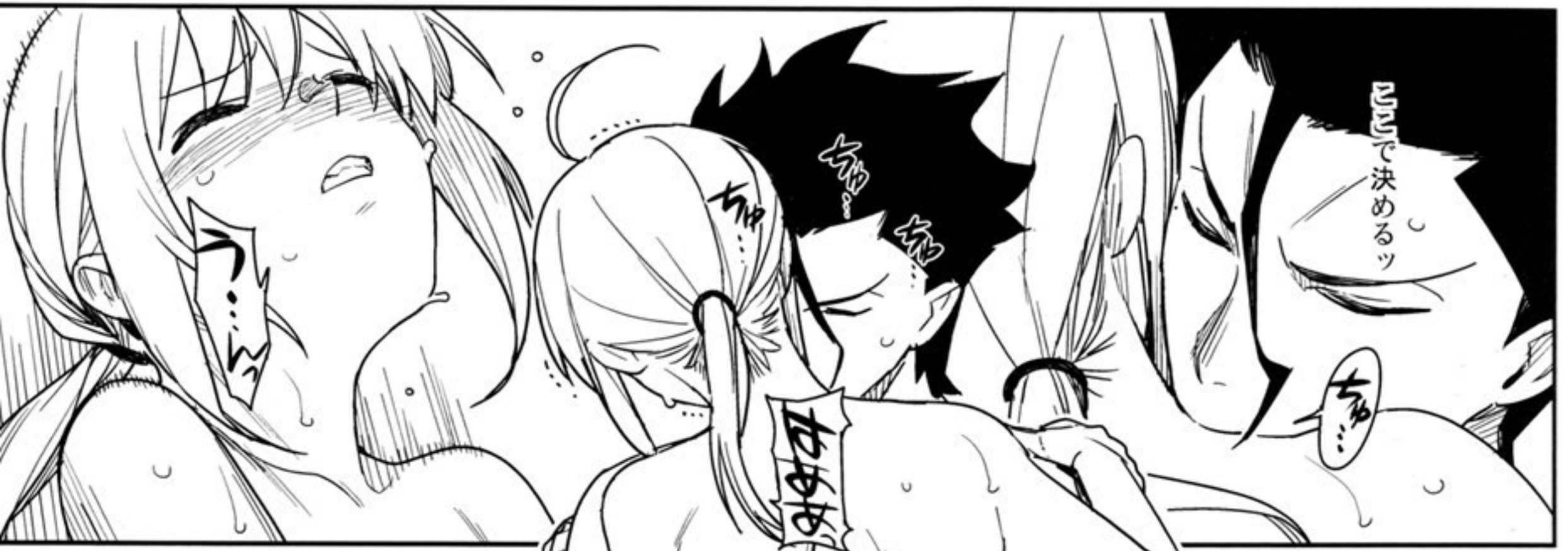




イク...の

ランサー...
私は...

もう...



ここで決めるッ

ちゅ
ちゅ



こんなにも私を
愛してくれ男が
いたなんて

これが
愛し合う行為

アッ

アッ

私はッ

アッ
アッ



私の全てが
満たされている...

アッ
アッ



もうわからない!
ああッ
私はッ
私はッ

あゝあゝ

駄目だッもうッ
見ないでくれ
果て顔など
見ないでッ
イルムッドッ

貴方のッ...
貴方のモノでッ
私はッ

アッ
アッ







まさか...

...そう
デイルの負け

彼女が
果てる前に彼は
果てていたのよ

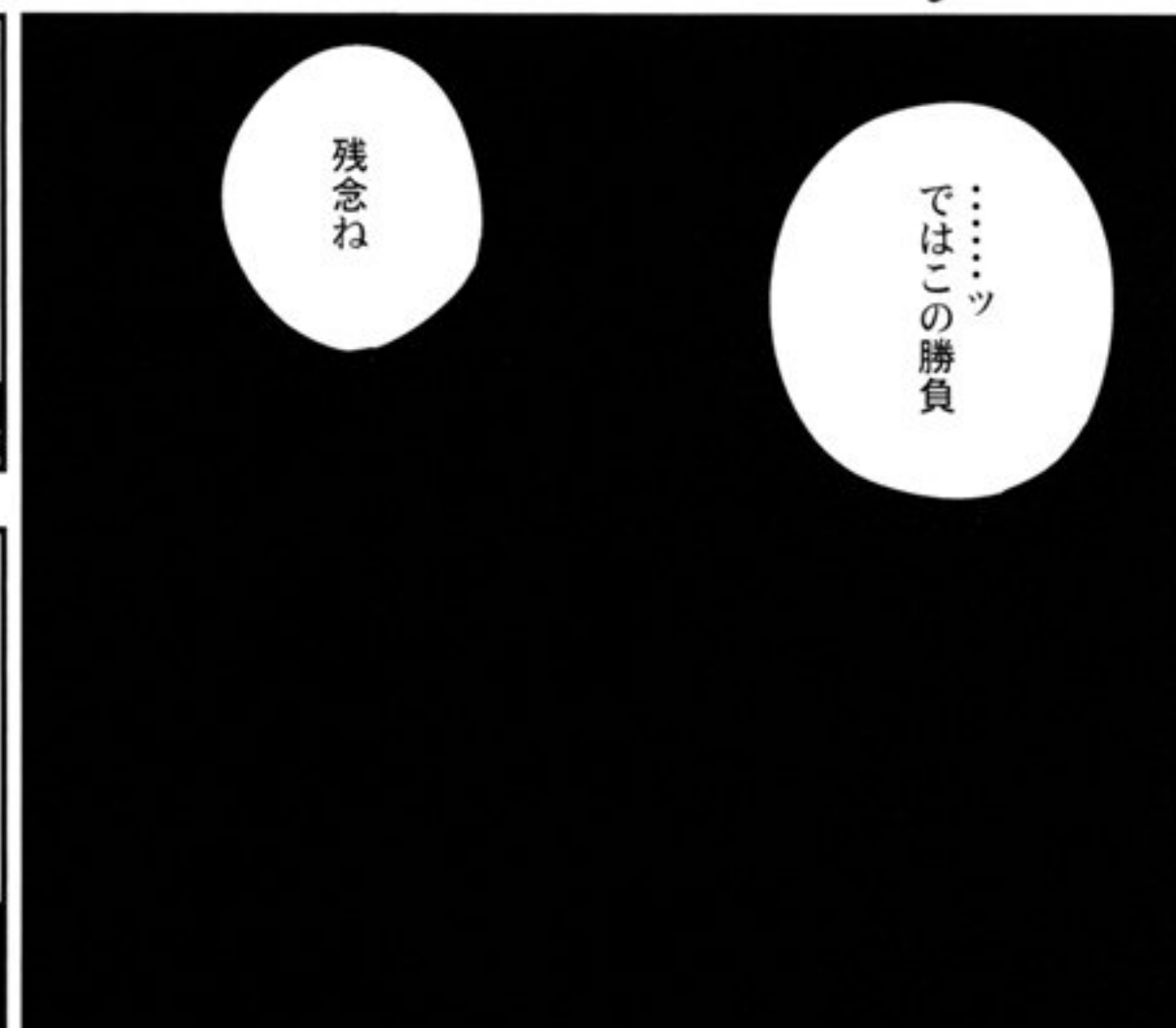
本当に
数秒の差

デイルの
瞳内射精を
感じて
彼女は一気に
果てたのよ



私の仕事は...

我が
アーチボルト家へ
の評価...は...



.....ッ
ではこの勝負

残念ね



先に果てた方が
負けの勝負

彼は...



彼女から
身を引く
でしょうね

デイル自ら
誓約した
勝負に
負けたのだから

セイバー

いい勝負だった
と思うのだが

……そう……
……だな……

貴女の勝ちだ

……
私の勝ちか……
私も果てたと
いうのに

それが事実

だが俺には
忘れられぬ
時間であつた

そうか



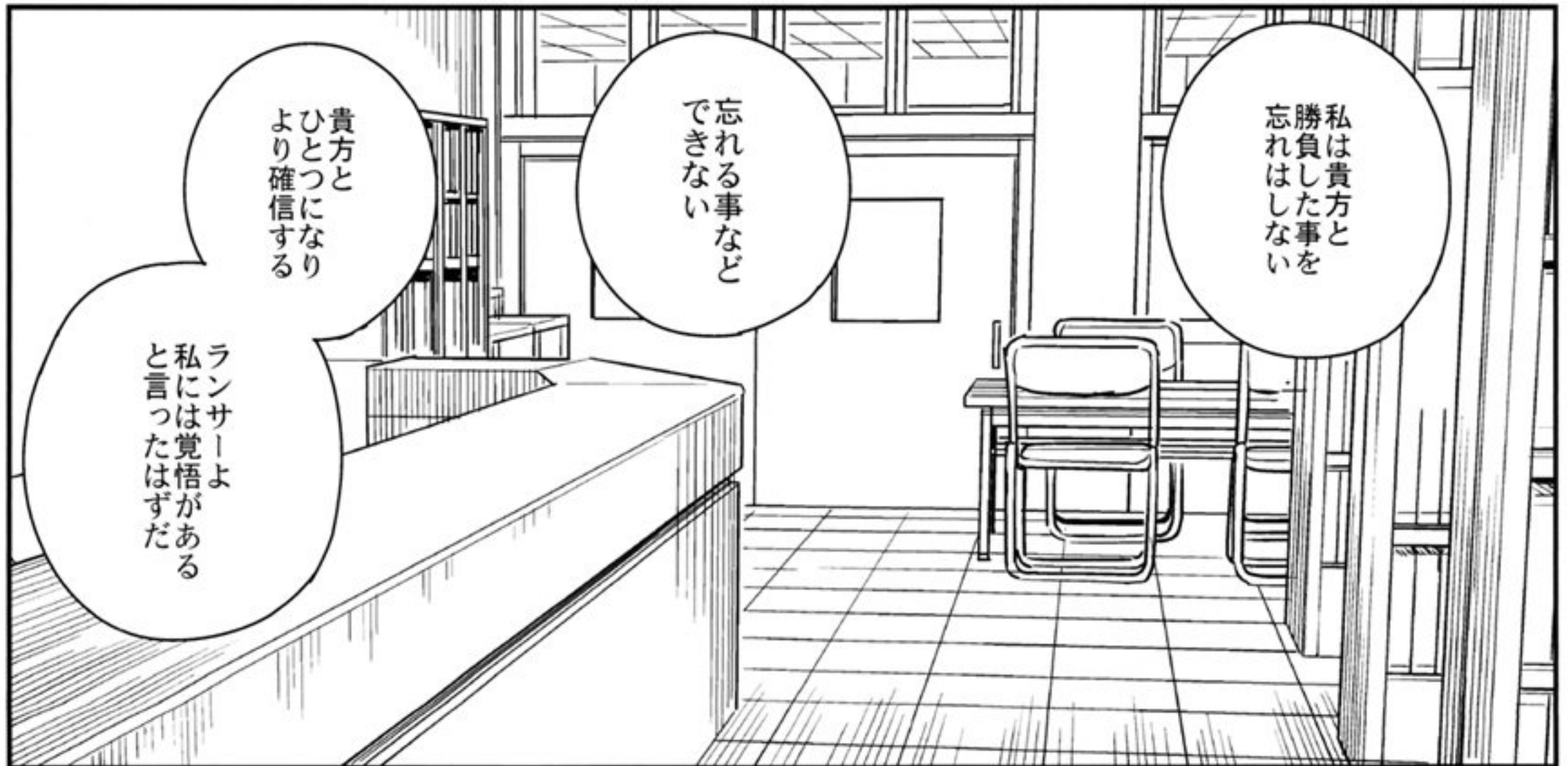
セイバー？



あきら
諦めない男だと
貴方は言ったはずだ



聞け

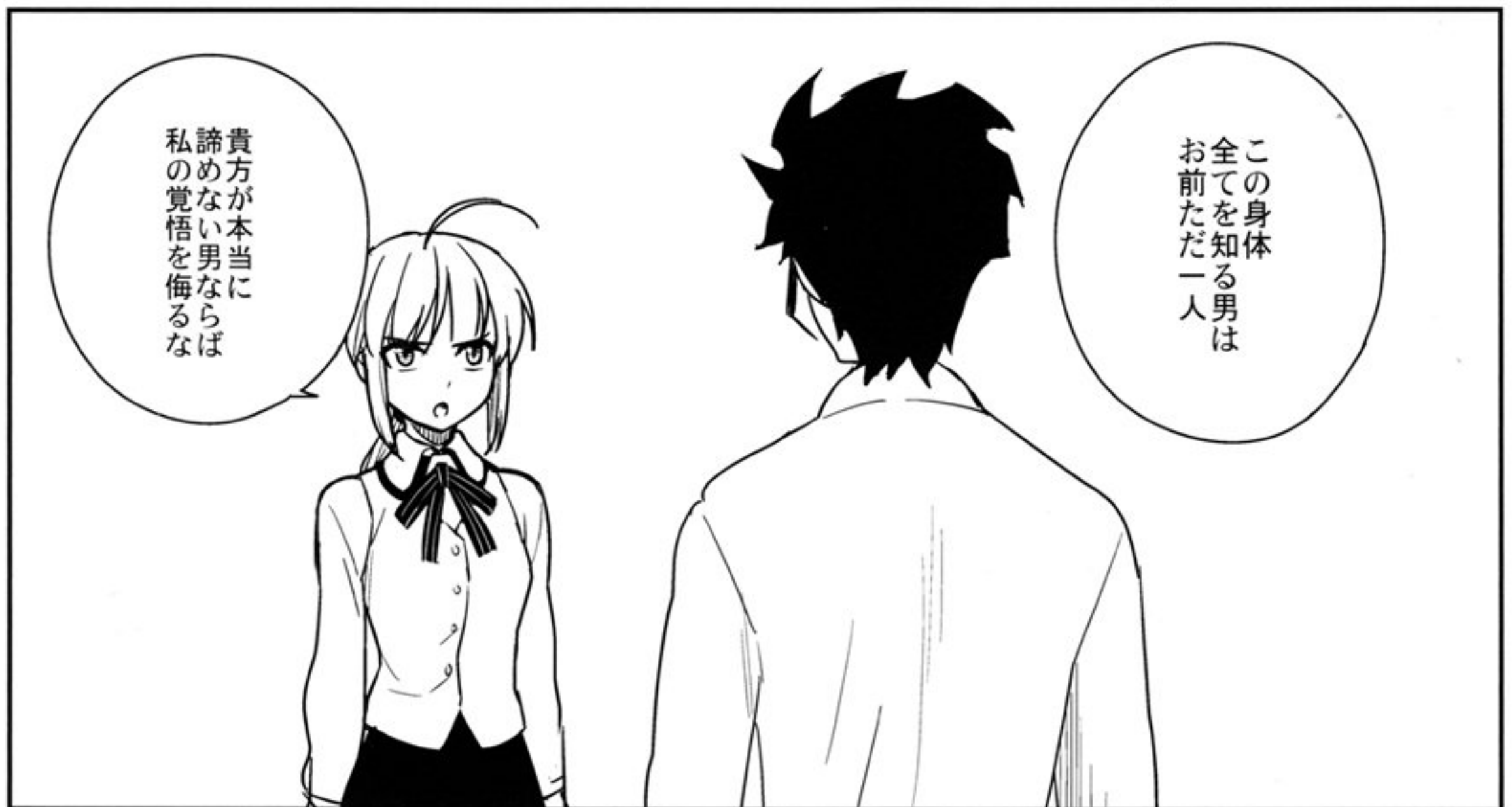


私は貴方と
勝負した事を
忘れはしない

忘れる事など
できない

貴方と
ひとつになり
より確信する

ランサーよ
私には覚悟がある
と言ったはずだ



この身体
全てを知る男は
お前ただ一人

貴方が本当に
諦めない男ならば
私の覚悟を侮るな



故に
デルムツドよ



間違えないで
欲しい
奇跡とは
自らで成し得る
もの

ならばこのアルトリア
今この瞬間から
貴方と共に生きよう
これは私が望む誓約
そして私が女として
挫する事など
在りはしない



デイルムツド・オディナ

この出会いに
感謝すべきは
私の方だ

私は貴方を
もっと知りたいと
思っているのだから

セイバー……



俺はッ

ああッ
このデイルムツド
必ずお前を
幸せにする
誓おうッ

お前と
出会えて
良かった！

この命は
お前の為に
あつたのだな
アルトリア



…宜しいでしょうが
変則的ではあつたが
これであの二人
恋愛成就とみなして
いいと思うのだが？
ソラウ

それにしても
ヒヤヒヤ
させる男だ

賞しな
さいッ

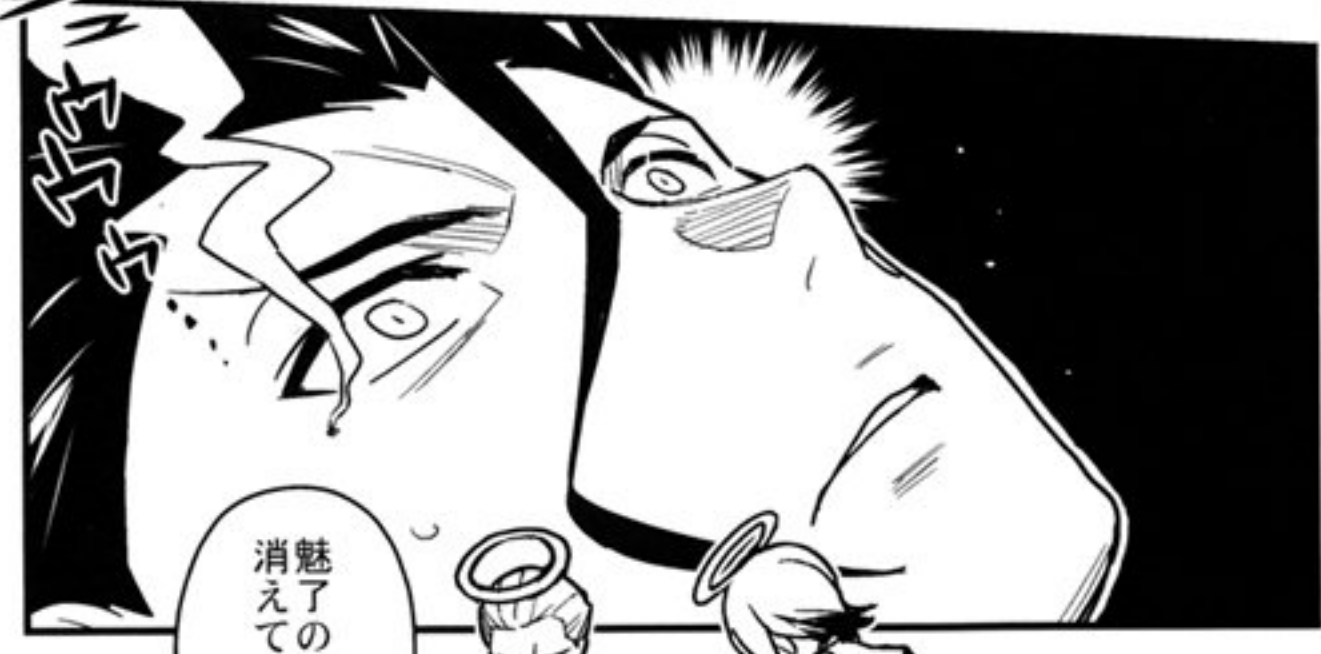
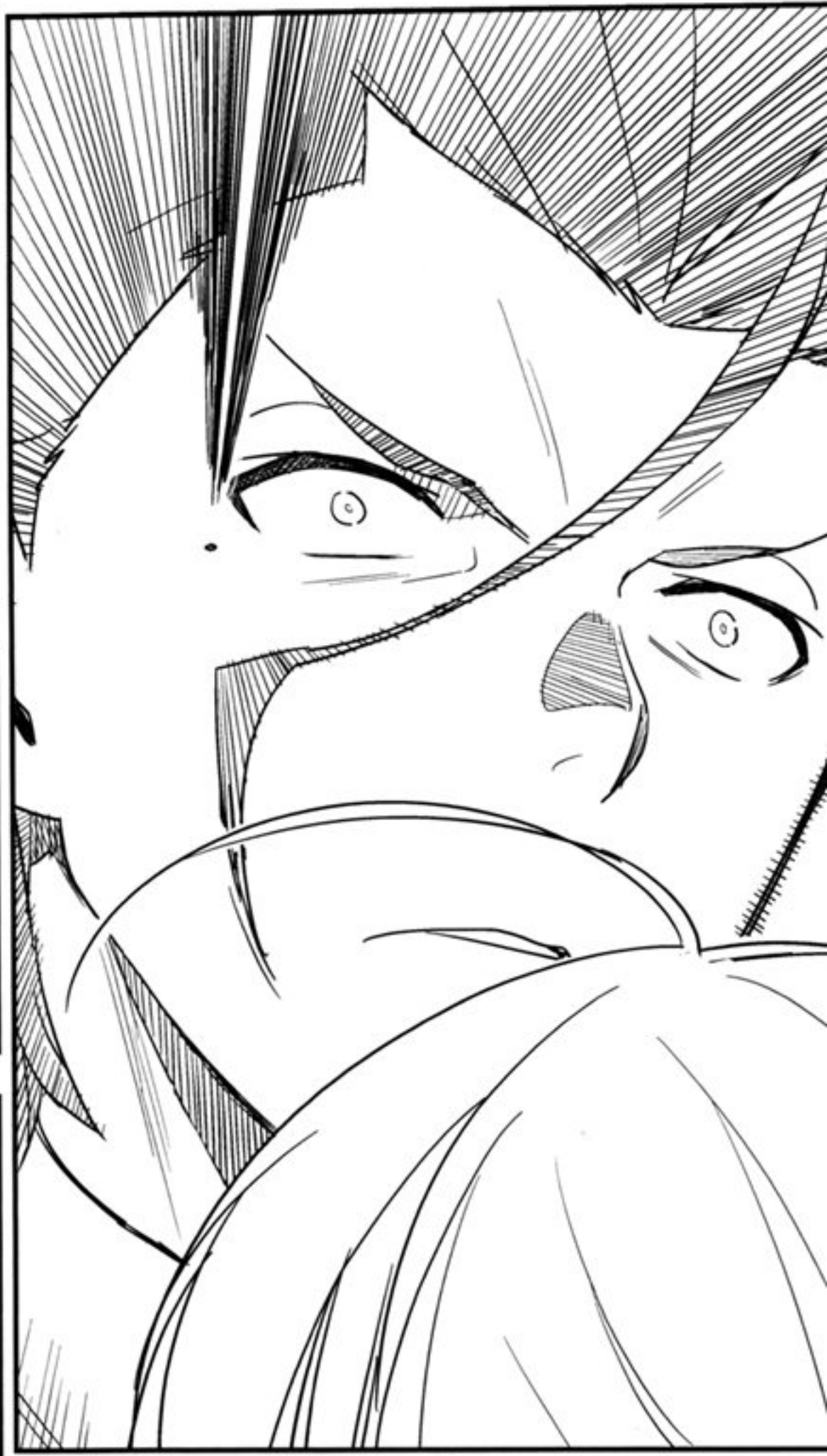
ソ……ッ

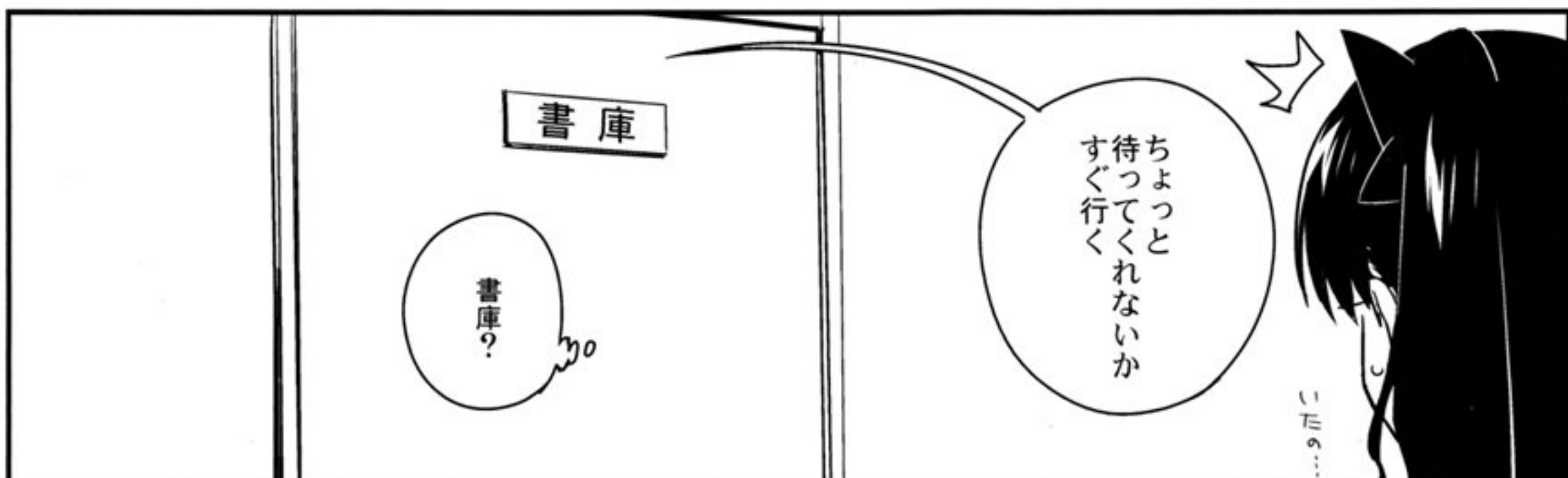
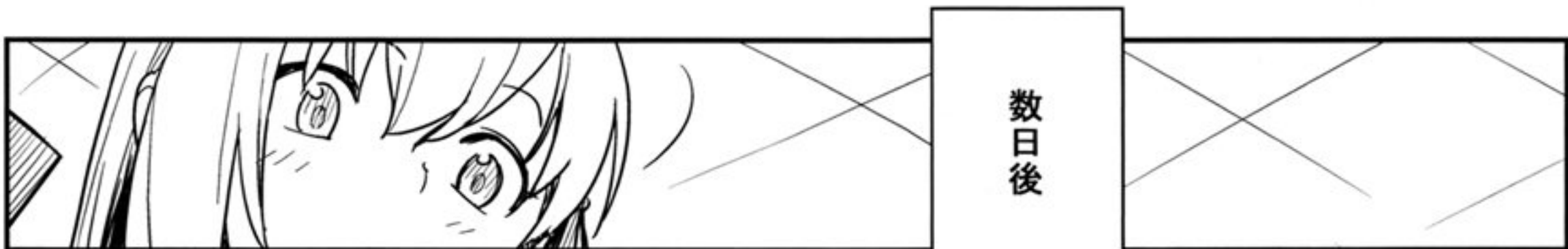
ソラウ
その槍は

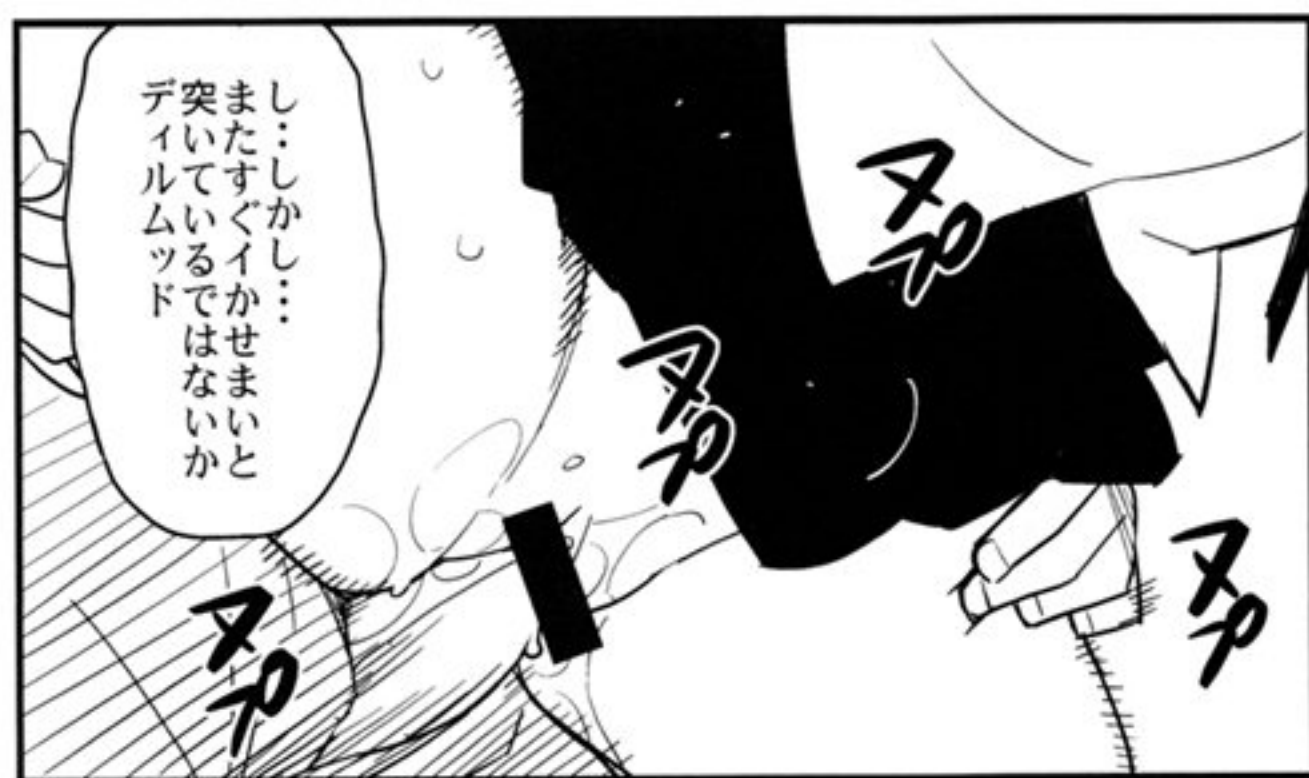


破魔の紅薔薇

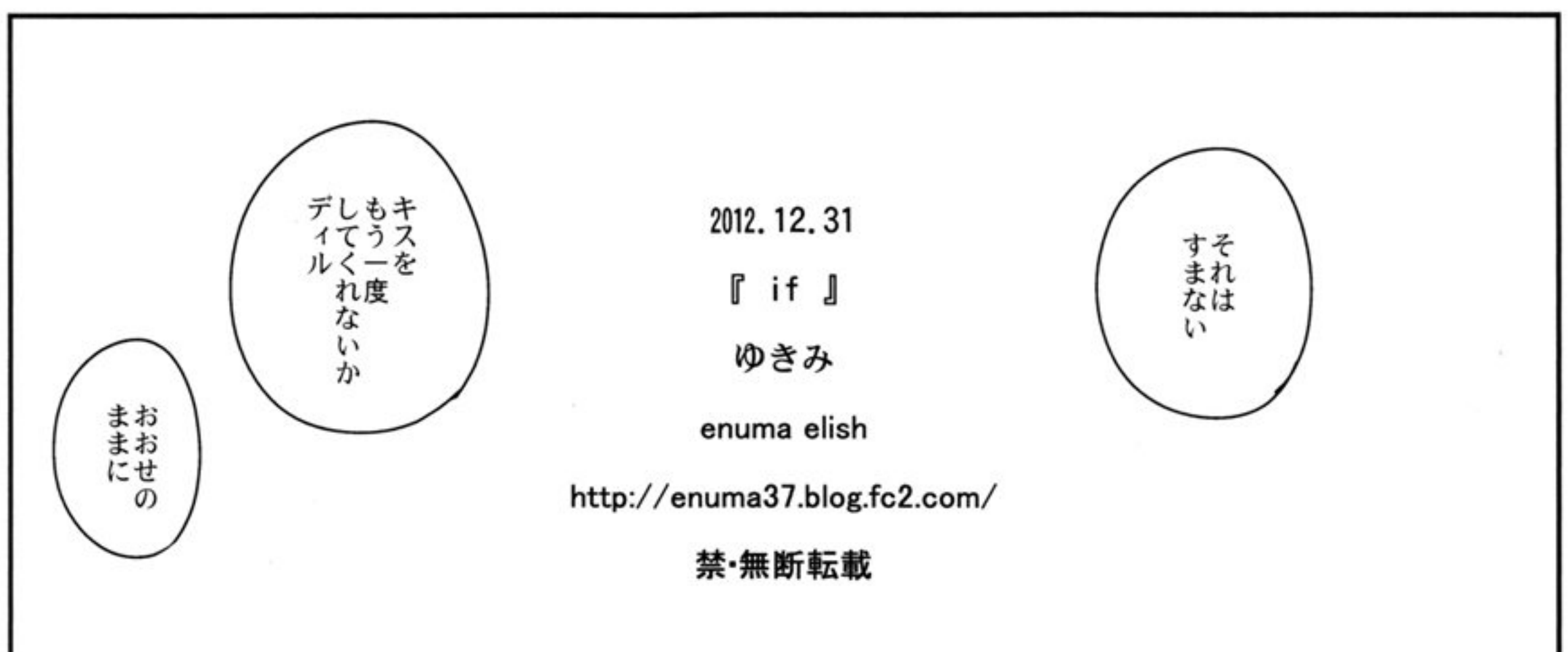
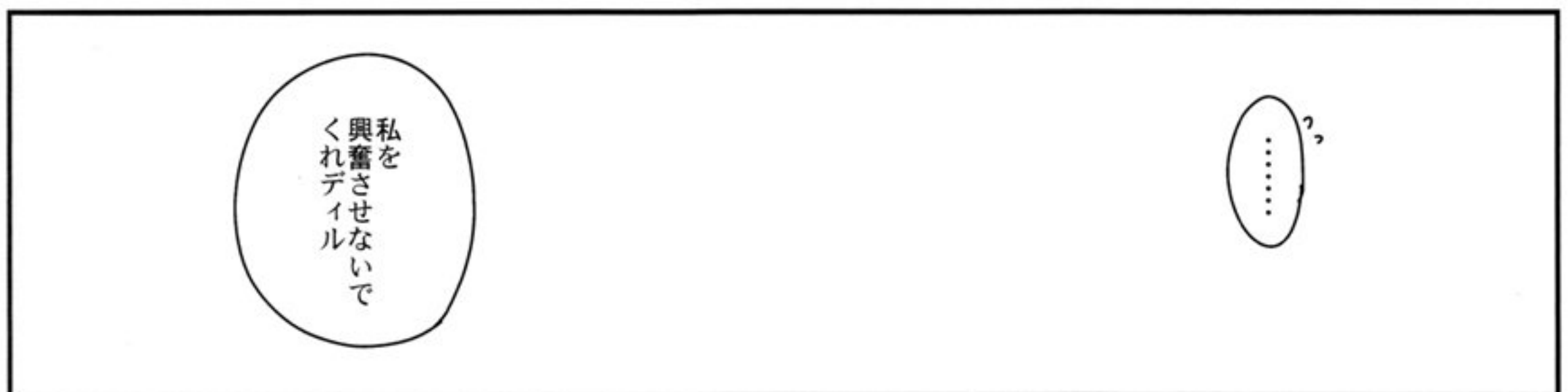
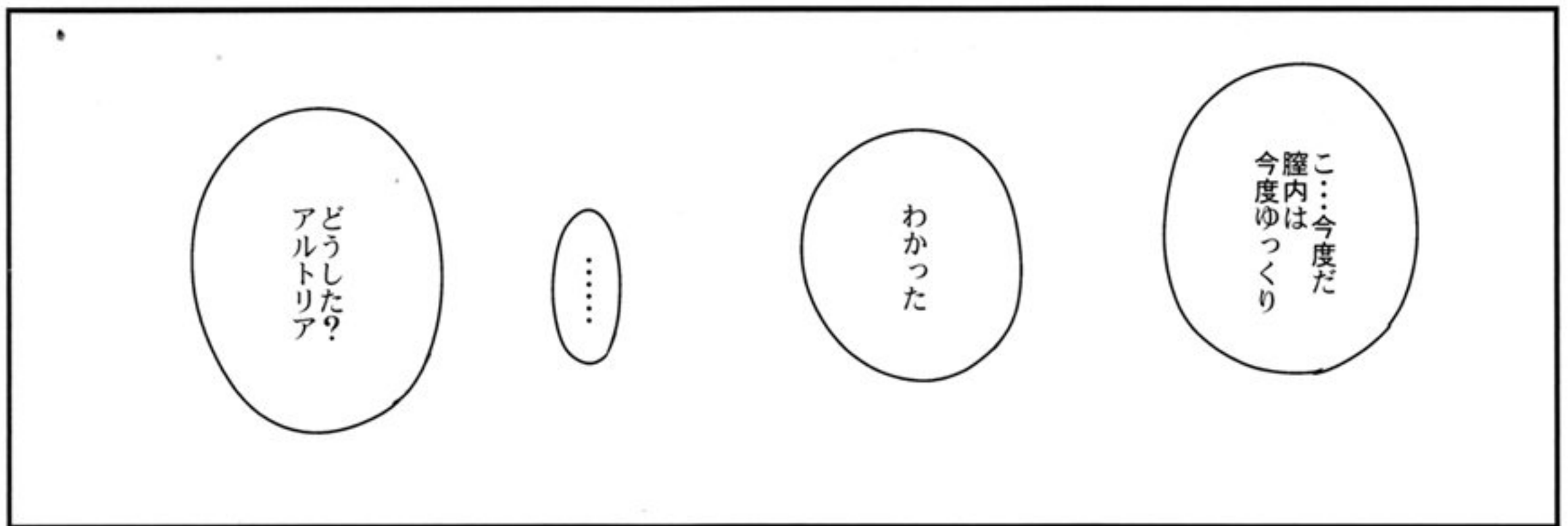
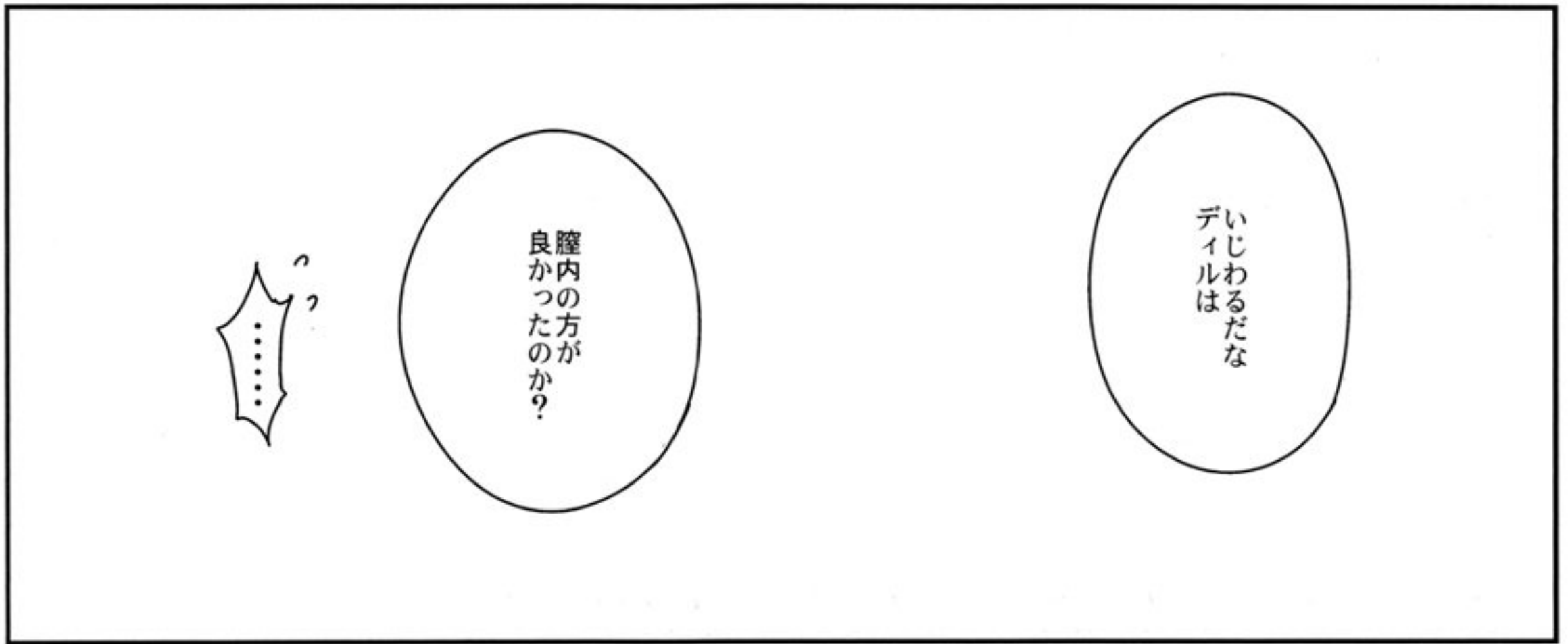
ゲイ・ジャルグ













if

another : zero distance